

2019年度

# 事業計画

公益社団法人郡山青年会議所

# 心を一つに！輝きある未来へ！！

## ～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～

「新日本の再建は我々青年の使命である…」戦後の混乱のなか、日本の青年会議所運動は産声をあげました。東京から始まった日本の青年会議所運動は全国各地へ広がり、1961年に全国で197番目のLOMとして郡山青年会議所が誕生しました。我々の先輩方はひとづくり・まちづくりを通して明るい豊かな社会の実現を目指し、創設以来58年に渡り郡山の発展のため運動を続けてきました。江戸時代、奥州街道の宿場町だった郡山は明治時代の安積開拓により急速に進歩し、高度経済成長期を経て日本有数の商業都市に発展しました。近年では音楽活動が活発に行われ市民が音楽とまちを愛する思いから2008年3月24日には音楽都市を宣言しました。現在は国際交流に力を入れてさらなる発展を遂げようとしています。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、大会が終わった後のその国や地域に遺るレガシーが重要視されています。我々は、個人や地域にとらわれることなく、人と人との繋がりによって築きあげられてきた多様性のある郡山を、市民一人ひとりがまちづくりに能動的に向き合って活躍し続けられるまちに発展させていかなければなりません。

### 【郡山を牽引する輝きあるリーダー】

我々一人ひとりが郡山を牽引するリーダーとしての資質をもって、誇りを抱く同志を増やし会員拡大に繋げていく必要があります。そのためには、時代の変化を真摯に受け止め、「何ができるのか」、「何をすべきなのか」、「何を变えるのか」を常に考え、当事者意識をもって率先して行動をしていかなければなりません。地域を力強く牽引するリーダーを輩出し続けてきた郡山青年会議所は時代の変化に対応すると共に歴史を継承し、歩みを止めることなく会員拡大に力を入れてきました。志を同じくする者が多ければ多いほど運動も広がっていきます。我々自身がJAYCEEとしての資質向上に努め、地域を牽引するリーダーとして輝き郡山の未来を照らす人財となり、志を同じくする者を導くことができます。

### 【想いを伝えることで輝く】

我々は広報誌やSNSなどあらゆる媒体を有効活用し、情報の開示や事業の告知・報告など正確かつ迅速に情報発信を続けていく必要があります。しかし、我々の運動に込められた想いは市民にどれだけ伝わっているのでしょうか。人に想いを伝えるとき、相手を思い、相手の気持ちを尊重することが必要です。相手に想いが伝わったとき、互いに喜び合うことができます。その想いを一人でも多くの市民に伝えていくためには、市民のニーズを的確にとらえ、気づきの機会の提供と多様な社会へ向けてSNSを中心に発信してまいります。そして市民から期待される輝きある組織へと繋がっていくのです。

### 【市民一人ひとりが輝くまち】

世の中が多様化するにつれ、まちづくりは地域社会におけるインフラストラクチャー重視の流れから、人と人との関係や地域社会に存在する課題を前向きにとらえ一体感を作り出すインクルージョンへ変化をしてきました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、郡山でもオランダのホストタウン登録を機会に、多様な個性と価値観を受け入れ、共存する文化への理解が高まっています。我々はこの機運を継続させるため、個人や地域にとらわれることなく、人と人が繋がる機会を創出し、異なる文化と交流を図ることで新しい文化を創造していきます。それにより、市民一人ひとりが郡山の主役となり輝くことができるユニバーサルシティ郡山を築いていきます。

### 【子どもたちに輝きのある郡山の未来を繋ぐ】

少子化、核家族化、共働きの増加により家庭の教育力が低下している現在、地域の人たちとの交流や体験を豊富に積み重ねる地域教育が必要とされています。また、過去に類を見ない甚大災害が増加している現在、相手を思いやる心をもつ重要性は高まっています。人と人との出会いはかけがえのないものであり、子どもたちが自ら考え仲間と協力した時間は、人生にとって大きな財産になります。我々は子どもたちに対し、広い視野と深い知識を身につけられる機会を提供するだけでなく、人との繋がり的重要性を伝え、相手のことを思いやる心をもった次世代のリーダーへと成長させていく責任があります。子どもたちの一つひとつの経験が知識となり、その知識が友人、家族、地域へと広がることで、一人の知識からみんなの知識に変わっていきます。子どもたちが相手を思いやる心をもった郡山の次世代のリーダーへと成長し郡山の輝く未来へと繋げていきます。

### 【この先へ繋ぐ輝きある運営】

2010年度の総会において公益法人格へ移行することが決議されて2019年度で10年が経過します。世の中の変化が著しい社会情勢に対し柔軟に対応していくためにも、今一度、公益社団法人郡山青年会議所に求められているものは何か、現役会員一人ひとりが運営方針や活動目的を再認識し、公益法人格とどのように向き合っていくのか現役会員一人ひとりが当事者意識をもって議論を重ねていく必要があります。この先へ繋ぐ輝きある運営に向けて心をつにし、青年会議所運動に取り組むことによって、より一層市民から期待される組織へと繋げていきます。

### 【結びに】

市民一人ひとりがまちづくりに能動的に向き合って活躍し続けるためには、まず我々が変わらなければなりません。我々は仲間と切磋琢磨しながら自分のもっている力を出し尽くし、まちのため、ひとのために向き合い議論を重ね、協力し合うことで人としての厚みが増し、魅力ある人財として輝き続けます。自分の可能性を信じて、仲間のために、まちのために活動に取り組む一人ひとりの輝きと郡山のために能動的に向き合い郡山の主役となった市民一人ひとりの輝きが一つになったとき、その輝きが郡山を照らし、より輝かしい未来の道へと繋がります。今こそ心をつにし！郡山を輝く未来へ繋げるため、共に歩んでまいりましょう。

## 常任理事方針

副理事長 伊藤 和樹

本年度、副理事長という重責をお預かり致します。佐藤理事長が掲げる「心を一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」のスローガンのもと、先輩諸氏から受け継がれてきた郡山青年会議所の歴史と伝統をしっかりとメンバーに継承して参ります。また、公益法人格を有する団体として相応しい事業構築や組織運営についても指導、助言し今後を見据えた人材の育成や青年会議所運動の本質をメンバーにしっかりと伝えて参ります。

まちのため、ひとのために議論を重ね協力し、郡山青年会議所の可能性を信じて、メンバー一人ひとりが輝けるよう向き合い、佐藤理事長をサポートし当事者意識を持って一年間、全力で邁進してまいります。宜しくお願い致します。

副理事長 二瓶 一嘉

今年度のスローガン「心を一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」を成し遂げるため、佐藤理事長より副理事長という重責をお預かり致します。これまで先輩諸氏から連綿と受け継がれてきた郡山青年会議所の歴史と伝統を継承し、明るい豊かな郡山を実現するためその精神を受け継ぎ、一人でも多くの現役会員に伝えていく所存です。本年度は、公益法人格移行10年が経過します。公益を掲げる法人として、運営方針や活動目的を再認識し、輝きある運営に向けて心を一つにして取り組んで参ります。

一年間、佐藤理事長を補佐し、常任理事として副理事長として郡山青年会議所運動に尽力し、明るい豊かな郡山実現のために邁進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

副理事長 柳沼 克郎

2019年度、佐藤理事長より副理事長を拝命いたしました。

在籍年数の浅いメンバーがLOMの半数を占める状況となったいまこそ、郡山青年会議所の創立以来受け継がれてきた伝統と精神と本質を理解し、現役会員に伝えていくことが私の責務だと考えます。我々がその本質を理解し、多様化した社会において本当に求められていることを追求することが、運動の原動力となり、輝きある未来の創造に向けた礎になります。佐藤理事長の掲げる「心を一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」のスローガンのもと、今我々がやらなければならないことを真摯に考え、佐藤理事長のサポート役としてしっかりと支えて参ります。

郡山青年会議所が、郡山を明るい未来へと導く光として運動を展開するためにも、全力で本年度の運動に取り組んで参ります。一年間、どうぞ宜しくお願い致します。

事務財政局特別局長 柳沼 勝恵

2019年度、佐藤拓也理事長より事務財政局特別局長を拝命致しました。佐藤理事長が掲げます「心を一つに！輝きある未来へ！！～一人ひとりの輝きが郡山を照らす～」の

スローガンのもと、郡山青年会議所の運動、活動が一年間を通し滞りなく遂行されるよう、精一杯務めさせていただきます。

公益法人格を有する組織として健全な運営を行うため、また各委員会の想いがつまった事業が円滑に進められるよう、専務理事の補佐、事務財政面を中心とした各委員会へのサポートを行ってまいります。事務財政局一丸となって、この先へ繋ぐ輝きある運営に向け活動してまいりますので一年間どうぞよろしくお願い致します。

指導力開発室室長 根本 太介

本年度の指導力開発室は会員開発委員会と広報渉外委員会の二つの委員会で構成されています。

会員開発委員会では、この地域の為に「何ができるのか」、「何をすべきなのか」、「何を変えるのか」という当事者としての意識を持ち行動する力を養い、より魅力のある人材となるための資質向上への取り組みと、永続的な会員開発を行なえる土台を作り、中長期的に安定した会員開発が可能なL O Mを目指し、個々が意識改革を行いながら成長し、新たな同志を増やしてまいります。

広報渉外委員会においては、想いを宿した「人」に光を当てた情報発信に取り組み、郡山青年会議所の想いを伝えるとともに広報誌やホームページ、SNSを活用し、共感が生まれるコンテンツを正確にかつ迅速に発信して行くとともに、「人」と「人」の繋がりを広げて輝きある組織へとなるべく邁進してまいります。

両委員会のメンバーが当事者意識を持ち、輝きある人材へと成長し、その輝きを広く発信することで、その輝きに魅力を感じた新たな同志を迎え、郡山の明るい豊かな社会の実現に向け運動・活動を展開してまいります。

未来創造室室長 金山 慶一

本年度の未来創造室は、まちづくり委員会と青少年育成委員会の2つの委員会から構成されます。

まちづくり委員会では、価値観や環境の違いから生じる様々な個性を受け入れ、互いが関わり合う文化交流事業を展開し相互理解を深めることで、誰もが主役となり輝くことができるまちを創造します。

青少年育成委員会では、スポーツ事業、教育事業、地域の人たちとの交流や体験を豊富におこない、子どもたちへ人との繋がりの重要性を伝え、相手を思いやる心をもった次世代のリーダーへと育成します。

両委員会の事業を通して、市民一人ひとりの輝きが一つになり、その輝きが郡山を照らし、新たな未来を創造します。心をついに！輝きある未来へ！！邁進して参りますので、一年間よろしくお願ひいたします。

## 2019年度 総務委員会

委員長 川村 憲司  
副委員長 菅野 浩二  
副委員長 佐久間 悠治  
副委員長 川島 弘靖

★委員会スローガン

# 事 上 磨 錬

～為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり～

### ★ 事業方針

郡山青年会議所は創設以来明るい豊かな社会の実現に向け、ひとづくりやまちづくりを通じ自己研鑽を重ね郡山の政治・経済界において多くのリーダーを輩出し続け、地域になくてはならない青年団体として歴史を重ねてきた。そのような歴史背景のなか、近年LOMの課題となっている会員減少や在籍年数の浅い会員が増加してきている状況から郡山青年会議所の会員としての素養や培われてきた経験・知識を新入会員に対して承継していく重要性が増してきている。

総務委員会は例会の設営や各種事業への参加を通じ青年会議所の運動内容や精神を学び自らの成長を図るため活動を行う。新入会員は様々な事業へ積極的に参加することにより、現役メンバーはもちろん、郡山青年会議所の歴史を創り上げてこられた先輩諸氏、今年度姉妹JC締結45周年を迎える（一社）奈良青年会議所メンバーと交流する機会を得ることでこれまで郡山青年会議所が脈々と受け継いできた歴史と伝統、精神を学ぶことができる。また、総務スタッフも新入会員への指導を通じ、自ら初心に戻り多角的な視点から運営を学び、新入会員に経験・知識を伝えるために己を客観的に見つめることでLOMを支え飛躍させることができる人財へと成長する。

総務委員会のメンバー一人ひとりが、これまで受け継がれてきた歴史と伝統、そして「修練」・「奉仕」・「友情」のJC三信条をはじめとした精神を重んじ学ぶことで「何ができるのか」「何をすべきなのか」を常に考え能動的に行動ができるLOMの根幹を担う人財となり、自らの持つ輝きがJCという学び舎で磨かれ更に輝きを増し、郡山の未来を照らし牽引するリーダーとして成長し明るい豊かな社会の実現へ繋げることができる。

### ★ 事業計画〔開催予定月〕

- |   |         |
|---|---------|
| 1. 新入会員の教育・指導                           | 〔通年〕    |
| 2. 例会の設営                                | 〔通年〕    |
| 3. 新年会の設営                               | 〔1月〕    |
| 4. 定時総会の設営                              | 〔1月・9月〕 |
| 5. 会員親睦事業の企画運営                          | 〔6月〕    |
| 6. 福島ブロック大会inいわき参加引率                    | 〔7月〕    |
| 7. うねめまつり参加引率                           | 〔8月〕    |
| 8. 奈良公式訪問参加引率                           | 〔9月〕    |
| 9. 卒業式の企画運営                             | 〔12月〕   |
| 10. 文書発送作業                              | 〔毎月15日〕 |
| 11. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、<br>その他庶務に関する業務 | 〔通年〕    |
| 12. 総会資料、会員名簿・名刺の作成                     | 〔通年〕    |
| 13. 会員拡大に関する情報収集                        | 〔通年〕    |
| 14. その他理事長所信に基づき行う事業                    | 〔通年〕    |

# 2019年度 会員開発委員会

委員長 松井 貴紀

副委員長 佐藤 尚弥

副委員長 伊藤 千拓

## ★委員会スローガン

# 矜持

～JAYCEEとして、地域と未来を照らす灯火となろう～

## ★事業方針

JCにとって、地域のリーダーであるという気概をもった青年の育成と会員の拡大は永続的な課題であり、我々郡山青年会議所もその課題を抱えながらJC運動・活動を展開している。未来を創るリーダーの育成と継続した会員拡大を図れなければ、58年もの長きに亘り明るい豊かな社会の実現に向けて邁進してきた組織を失ってしまうことにもなりかねない。そんな危機的状況だからこそ、我々メンバーが「今」だけではなく後世も生きる「未来」をつくりだす意識を持ち、安定した会員拡大をしていく必要がある。

会員開発委員会では、「今」を生きる我々メンバー一人ひとりがJC運動・活動の意義について学ぶ機会を提供することにより、自ら「未来」のために率先して行動するJAYCEEとしての役割を改めて再認識する。また、これまで会員拡大を成功させてきた手法や過去の成功事例をメンバーへ共有し、LOM全体の会員拡大の必要性を認識させ、一人ひとりが会員拡大のメンバーであるという自覚を持つことで安定した会員拡大に繋げることができる。

これらの運動・活動を展開することがJAYCEEとしての矜持を持つメンバーの育成につながり、それぞれがまちを輝かせる人財となる。その光が多くの同志を導き、郡山の未来を永遠に照らすのである。

## ★事業計画 [開催予定月]

- |   |          |
|---|----------|
| 1. 京都会議の引率                                    | [1月]     |
| 2. 新入会員オリエンテーション<br>並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同） | [2月]     |
| 3. 4月例会・チェリーパーティーの企画・運営                       | [4月]     |
| 4. 会員開発セミナーの企画・運営                             | [4月・10月] |
| 5. OB会会員との交流                                  | [通年]     |
| 6. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ                           | [通年]     |
| 7. その他理事長所信に基づき行う事業                           | [通年]     |

参考：会員募集スケジュール

※面接等個別に進められることは随時対応する。

年月	会員拡大実行内容
2018. 12月	2018年度会員拡大候補者のリスト精査
2019. 1月	個別目標設定・各委員会への紹介ご依頼

リスト作成・配布開始・個別面談・面接実行

(新入会員候補者・現役会員・OB会員に配布)

- 2月 個別面談・面接実行・リストの充実
- 3月 会員拡大会議・個別面談・面接実行・リストの充実
- 4月 会員開発セミナーの実施・個別面談・面接実行・リストの充実
- 5月 会員拡大会議・個別面談・面接実行・リストの充実
- 6月 個別面談・面接実行・リストの充実
- 7月 個別面談・面接実行
- 8月 個別面談・面接実行
- 9月 会員拡大会議・個別面談・面接実行
- 10月 会員開発セミナーの実施・個別面談・面接実行・次年度への引継ぎ
- 11月 個別面談・面接実行・次年度への引継ぎ
- 12月 個別面談・面接実行・次年度への引継ぎ



## 2019年度 広報渉外委員会

委員長 真山 祐一  
副委員長 佐藤 研一

### ★委員会スローガン

# きらめき☆ときめき

～人の輝きがまちに共感を広げる～

### ★事業方針

情報発信ツールの多様化によって、伝えたい相手を想定した上でツールを選択し、より発信力を高めることが可能となった。一方、情報は溢れ返り、その中でより際立つ情報発信を迫る必要がある。また、我々は公益社団法人として積極的に情報公開を行うことで社会的信頼を構築するとともに、郡山青年会議所が実施する一つひとつの事業に込められた想いを多様な市民に伝えていくことが求められている。

想いは「人」に宿り、「人」を通じて伝わる。だからこそ「人」に光を当てた情報発信に取り組み、郡山青年会議所の想いがより際立つような発信を行う。また、私たちが実施する事業に市民を巻き込みながら「人」の繋がりを通じて、郡山青年会議所の想いを伝えていく。

広報誌やホームページ、SNSを活用した情報発信においては、正確性や速報性ととも、より共感が生まれるコンテンツとして、JAYCEEの人間性がにじみ出るような特集企画に取り組み、さらに、動画による発信に力を入れ、SNSにおける拡散力の向上に繋げる。また、行政や関係諸団体、多くの市民と連携しながら、市民一人ひとりが輝く人材に成長していくための気づきの機会を提供するとともに、私たちが地域課題と向き合い、身近な資源に光を当てて地域活性化に貢献することで市民との繋がりを広げる。

「人」が輝く広報渉外活動によって郡山青年会議所の想いが際立ち、その想いが「人」から「人」へと伝わっていくことで郡山青年会議所に対する共感の輪を大きく広げ、市民から期待される輝きある組織へと繋げていく。

### ★事業計画 [開催予定月]

1. 新入会員オリエンテーション並びに  
現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同） [2月]
2. 3月例会・  
（仮称）「輝く人材オープンセミナー」の企画・運営 [3月]
3. 全国大会富山大会引率 [10月]
4. 広報誌発刊 [1・5・8・12月]
5. 道路愛称公募事業の企画・運営 [2～8月]
6. メールアドレス・メーリングリストの管理 [通年]
7. LOM事業の取材 [通年]
8. 会員拡大に関する情報収集 [通年]
9. ホームページの作成・運営管理 [通年]
10. 広報・渉外活動全般 [通年]
11. その他理事長所信に基づき行う事業 [通年]

## 2019年度 まちづくり委員会

委員長 本多 利幸

副委員長 坂本 皓亮

★委員会スローガン

# 承前啓後

～人と人の心が繋がる郡山の未来のために～

### ★事業方針

近年、住民の地域社会への帰属意識の希薄化などから、もとよりある郡山の様々な文化の輝きが弱まっていくおそれがあり、これら地域の文化の活性化は喫緊の課題である。

郡山青年会議所は、これまで多くの事業を通してまちづくり運動を展開し続けてきた。我々はその知識と経験を活かし、行政や地域団体と連携することで異なる地域住民同士が交流できる場を創出し、地域の垣根を超えて多様な文化を発信しあえる事業を展開する。そのために、音楽を始めとする様々な文化の力を用いて、互いの隔たりを無くし、そこに集った多くの人々が心を躍らせ、心をつつにして互いの文化の魅力を発信し合う。

このような運動・活動を通して、人と人との心が繋がり多様な個性や価値観が共存し合いそれぞれの文化が輝き、その輝きが重なり合うことで新たな文化が生み出される。そして、多様な価値観を受け入れる土壌を創ることで、一人ひとりが主役となって輝くことができるユニバーサルシティ郡山となり、明るい豊かな社会へ繋げる。

### ★事業計画 [開催予定月]

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 5月例会・文化交流事業      | [5月] |
| 2. サマーコンファレンス引率事業   | [7月] |
| 3. 文化交流事業・清掃活動      | [8月] |
| 4. 会員拡大に関する情報収集     | [通年] |
| 5. その他理事長所信に基づき行う事業 | [通年] |

★ 事業方針

2019年度 青少年育成委員会

委員長 芝田 銀平  
副委員長 渡邊 晃

★委員会スローガン

# Connect

～ 繋げよう 輝く未来へ ～

★ 事業方針

現代の子どもたちは共働きの増加、少子化や核家族化によって、地域社会において多くの人々との交流が減少している。その結果相手を思いやる心を育む機会が減り、郡山を牽引するリーダーへと成長することが以前より難しくなっている。

そこで、青少年育成委員会では関係諸団体と協力し、子どもたちが幅広い年代の人々との交流を通して楽しみながら助け合う大切さを体験し、学ぶ事業を実施する。また、「久米賞・百合子賞」では作品を作ることを通して、相手に想いを伝える力を育み、「わんぱく相撲」では礼を学び、相手を思いやる機会を提供する。様々な体験をすることで助け合いの心を育み、相手を思いやる子どもへと成長する。

様々な体験を積み重ねることによって他者に関心を持ち、相手を思いやる心を持った子どもになる。その子どもたちが成長することで、相手を思いやる心を持って次世代のリーダーへと成長し、郡山の輝く未来へと繋がっていく。

★ 事業計画 [開催予定月]

- |  |         |
|--|---------|
| 1. 第58回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置                      | [2月]    |
| 2. 第54回郡山市こどもまつりへの参画                           | [5月]    |
| 3. わんぱく相撲郡山場所・福島ブロック場所の開催<br>全国場所・全国女子場所への参加引率 | [5月～8月] |
| 4. 青少年育成事業の開催                                  | [7月～8月] |
| 5. 東北青年フォーラム in 能代参加引率                         | [9月]    |
| 6. 11月例会・第58回「久米賞・百合子賞」授賞式                     | [11月]   |
| 7. 会員拡大に関する情報収集                                | [通年]    |
| 8. その他理事長所信に基づき行う事業                            | [通年]    |